

令和6年度 日本学生支援機構【貸与奨学金】

「継続手続き」について

学生支援チーム奨学金担当

Tel : 059-231-9061

E-mail : menjyosyogaku@ab.mie-u.ac.jp

1. 10月末現在で休学中・停止中の人を除き、貸与奨学生は**全員**手続きが必要です。給付奨学金との併給調整により第一種奨学金の振込が「0円」となっている人も必ず手続きしてください。4月以降の継続貸与を希望しない人は、継続願で「継続を希望しない」ことを入力してください。

「継続願」 令和6年12月16日(月)8:00 ~ 令和7年1月19日(日)(厳守)
 入力期間 (ただし、12月29日~1月3日は入力できません。)

2. お知らせ

- ・継続願の提出(入力)前に、スカラネット・パーソナルから「貸与額通知」を印刷して、人的保証の方は連帯保証人・保証人にその内容を確認してもらってください。
- ・貸与奨学金は貸与終了後に日本学生支援機構へ返還する必要がありますので、将来、返還が困難になることのないよう、貸与月額が適切な金額であるかよく確認してください。
- ・スカラネット・パーソナルに**未登録**の人は新規登録をしてください。登録には、奨学生番号と振込口座番号が必要です。日本学生支援機構ホームページ → **奨学金** → **スカラネット・パーソナル** をクリック。(直接 URL を入力する場合は、<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>)

3. 「継続願」提出の手順について

大学HPに掲載の JASSO「貸与奨学金継続願」準備用紙を印刷し、必ずよく読んでから手続きを始めてください。大学学部用 と大学院用 の二種類があります。

(機構HP https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/taiyo/keizoku_negai.html#1 も参照。)

- ① 準備用紙の3~6ページを記入してください。(下記の「5. よくある質問」の内容に注意して記入をしてください。また、このお知らせの3~4ページに**本人の収入及び支出 計算表**がありますので収入・支出の集計に利用してください。)
- ② スカラネット・パーソナルに自分で登録したユーザID・パスワードを使用してログインします。
- ③ 「奨学金継続願提出」タブをクリックしてください。
- ④ 「貸与奨学生番号(6及び8で始まる番号)」を選択し、下書きどおりに入力してください。
- ⑤ 「送信」ボタンを押したあと画面に表示される受付番号(16桁)を準備用紙にメモしてください。

4. 入力における注意点

- ・スカラネット・パーソナルのログインにおいて、登録済みのユーザID・パスワードを忘れた場合
再度登録してください。(**ログイン・新規登録** → **ユーザID・パスワードを忘れた場合**)
「奨学生番号」欄は新規登録時に入力した番号を入力してください。複数の奨学生番号を持っており、送信後にエラーメッセージが表示される場合は、他の奨学生番号で試してみてください。なお、その奨学生番号が貸与終了済の場合、「口座番号」欄は振替口座(リレー口座)の番号を入力する必要があります。
- ・スカラネット・パーソナルの新規登録でエラーとなる場合
「スカラネットPS確認情報入力」の画面の左下【確認情報入力の項目について不確かな場合は [こちら](#)】で確認してください。
- ・第一種奨学金と第二種奨学金を併用している場合
奨学生番号ごとに継続願の提出(入力)が必要です。両方の継続を希望する場合には、必ず同じ内容を入力してください。
- ・入力終了後に内容を訂正したい場合
スカラネット・パーソナルの「奨学金継続願提出」タブ→「貸与奨学生番号(訂正可)」をクリックし、訂正してください。訂正不可の場合は学生支援チーム奨学金担当窓口へ相談してください。

5. よくある質問

Q1. 授業料は、1年でいくらでしたか？

- A. 年額 53 万円（博士後期 52 万円）です。
授業料免除を受けている方は免除後の支払額（0, 26 万, 40 万円等）を記入します。

Q2. 経済状況(あなたの収入・支出)を入力にするに当たって、注意することは？

- A. ①「家庭からの給付（学部生）」・「父母からの給付（大学院生）」には、仕送りの他に**父母等が負担している授業料・下宿代・電話代等**を収入として計上します。
- ②「日本学生支援機構の奨学金（自動表示）」の注意事項で、「自動表示に含まれていない」と記載されている奨学金（給付奨学金等）の金額は収入欄の「**その他**」に計上してください。
- ③「**学費**」には、授業料・実験実習費・保険料・留学費用等を計上し、**入学料は支出の「その他」欄**に計上します。
- ④「**修学費**」には、学費以外で学校生活に係る費用を計上し、通学費（定期代等）も含まれます。
- ⑤「**通信費（自宅生）**」・「**光熱水料通信費（自宅外生）**」に携帯電話代の計上を忘れないでください。**父母等が支払っていてもあなたの必要経費です。**
- ⑥ 金額については、**2023 年 12 月～2024 年 11 月の 1 年分**を記入します。
(1 年生と今年度編入学生は 2024 年 4 月～11 月の 8 ヶ月分)
- ⑦ 最後に、収入と支出の差を必ず確認し、支出に比べて収入が一定額以上多いときは、貸与辞退や貸与月額の見直し（減額）等を含めて検討してください。

Q3. 「あなたの収入」で自動表示される「日本学生支援機構の奨学金」の金額修正はどうすればよい？

- A. ここには 2023 年 12 月から 2024 年 11 月までの振込額が自動表示されるため修正はできません。
振込保留などの影響により、自動表示される額に 2023 年 11 月以前の金額も含まれ収支のバランスに影響が出る場合は、2023 年 11 月以前分として振り込まれた金額を支出の「**その他**」欄に計上することで差し引き、1 年分の奨学金金額として調整してください。

Q4. 継続貸与できるでしょうか？

- A. 大学において継続希望者の成績等を審査して、適格認定(継続・警告・停止・廃止の判断)を行い機構へ報告します。留年は「**廃止**」又は「**停止**」となります。修得単位数により修業年限での卒業が見込めないと判断される者も「**廃止**」となる場合があります。

Q5. 「継続を希望しません」を選択しました。その後の手続きはどうしたらいいですか？

- A. 5 月中旬頃に「**貸与終了書類**」を配付します。配布準備ができ次第、学生メールで連絡しますので、書類を受け取りに来てください。終了手続きの完了後に、在学猶予願を提出することにより、在学中の返還が猶予されます。

Q6. 「継続」判定なら4月 11 日に振込まれますよね。4月11日に振込がなかったのですが。

- A. いいえ、**4月の振込日は21日、5月は16日**です。適格認定で「**継続**」と判定された方には、大学の奨学金担当や日本学生支援機構からの連絡はありません。4 月 21 日以降に振込口座通帳の記帳をして、継続となったことを確認してください。
ただし、今回の**継続願入力期限（1月19日）**後も未入力の人がいると、継続できる奨学生全員の4月分奨学金が5月16日まで振り込まれない可能性がありますので、期限までに入力をお願いします。

Q7. 返還誓約書情報(住所等)が変わりました。変更手続きは必要ですか？

- A. 本人の住所または電話番号に変更がある場合は、継続願提出時（スカラ PS の入力時）に「住所を変更する」ボタンから変更してください。
本人以外の情報の変更については、スカラ PS では変更できませんので、奨学金窓口に申し出てください。
ただし、**本人以外に関する「電話番号・携帯電話番号、連帯保証人・保証人の勤務先名称と勤務先電話番号」の変更は、貸与中の届け出は不要**です。貸与終了後に変更手続きを行ってください。

本人の収入及び支出 計算表

「奨学金継続願」準備用紙の4～5ページの注意事項等を参照し、下記の計算表で集計をしてください。
 (三重大学 HP に計算表のエクセルファイルを掲載しています。計算式が入っていますのでご活用ください。
 「学部・自宅」「学部・自宅外」「大学院・自宅」「大学院・自宅外」別にシートがあります。)
 三重大学奨学金 HP <https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/inuse-keizoku.html>

手順

- ① 収入と支出それぞれの項目に月額あるいは年額を記入します。支出では、**自宅通学**と**自宅外通学**で支出の種類が異なるため、表が別になっています。月額で記入したのものについては12ヶ月分をかけて年額を計算します。(1年生と今年度編入生については8ヶ月分をかけて年額としてください。)
合計金額は1万円未満を切り捨て、種類毎に「万円」単位としてください。
- ② 「収入合計★」－「支出合計☆」を計算してください。**差額がマイナスになる場合、各項目の金額に間違いがないかをよく確認**してください。
- ③ 赤枠内の金額を準備用紙4～5ページの金額欄に転記してください。

月額×12(1年生は×8) 単位を「万円」に変換

あなたの収入

	月額 (単位:円)	年額 (単位:円)	年額 (単位:万円) 1万円未満切り捨て
家庭からの給付	円	円	万円
日本学生支援機構の奨学金 (スカラ PS では自動表示)	円	円	万円
日本学生支援機構以外の 奨学金	円	円	万円
アルバイト等収入	円	円	万円
その他	円	円	万円
収入合計★			万円

(大学院生は収入の種類並び順が異なり、また「配偶者の定職収入」欄があるため、準備用紙へ書き写す時は注意してください)

月額×12(1年生は×8) 単位を「万円」に変換

あなたの支出(自宅通学・父母と同居している)

	費用項目	月額	年額	年額合計 (単位:円)	年額 (単位:万円) 1万円未満切り捨て
学費	授業料	授業料は年間 535,800円	円	円	万円
	その他		円		
修学費	教科書・図書費・文具購入費	円	円	円	万円
	実習旅行・ゼミ合宿	円	円		
	部活・サークル費用	円	円		
	通学費・定期代	円	円		
	駐輪場代	円	円		
食費	外食費	円	円	円	万円
通信費	携帯電話代等	円	円	円	万円
その他	1年生と今年度 編入生は入学料 282,000円	入学料	円	円	万円
		医療費	円		
		娯楽費	円		
		理容美容代	円		
		自動車学校講習費	円		
	その他講習費	円	円		
	その他支出	円	円		
機関保証料	スカラ PS では自動表示	円	円	円	万円
支出合計☆					万円

月額×12(1年生は×8) 単位を「万円」に変換

あなたの支出(自宅外通学・父母と同居していない)

	費用項目	月額	年額	年額合計 (単位:円)	年額(単位:万円) 1万円未満切り捨て
学費	授業料	授業料は年間 535,800円	円	円	万円
	その他		円		
修学費	教科書・図書費・文具購入費	円	円	円	万円
	実習旅行・ゼミ合宿	円	円		
	部活・サークル費用	円	円		
	通学費・定期代	円	円		
	駐輪場代	円	円		
家賃	家賃・共益費等	円	円	円	万円
食費	下宿等での食費・材料費	円	円	円	万円
	外食費	円	円		
光熱水料・ 通信費	電気代	円	円	円	万円
	ガス代	円	円		
	水道代	円	円		
	携帯電話代等	円	円		
	インターネット費用	円	円		
その他	1年生と今年度 編入生は入学料 282,000円	入学料	円	円	万円
		医療費	円		
		娯楽費	円		
		理容美容代	円		
		自動車学校講習費	円		
		その他講習費	円		
		帰省のための交通費	円		
		その他支出	円		
機関保証料	スカラ PS では自動表示	円	円	円	万円
支出合計☆					万円

「収入合計★」-「支出合計☆」= 万円

【計算例】(例: 大学3年下宿生 授業料は奨学金で支払い、家賃・光熱水料通信費は家庭支払い、仕送り月3万円)

あなたの収入

1) 家庭からの給付	108	家賃 48万 光熱水料通信費 24万 仕送り 3万×12月
2) 日本学生支援機構 奨学金	60	自動表示 (例)月5万×12月
3) 機構以外奨学金	0	
4) アルバイト等収入	30	月平均2.5万×12月
5) その他	0	
収入合計	198	

あなたの支出

1) 学費	53	
2) 修学費	10	教科書代2万 ゼミ合宿2万 サークル活動費0.5万×12月
3) 家賃	48	4万×12月
4) 食費	40	1日1,000円×365日+時々外食
5) 光熱水料 通信費	24	電気ガス水道合計1万×12月 スマホ代0.5万×12月 インターネット代0.5万×12月
6) その他	21	娯楽費1万×12月 理美容代0.4万× 5回 医療費年1万 帰省2万×3回
7) 機関保証料	0	自動表示
支出合計	196	

この例の場合 収入198万円 - 支出196万円 = 差額2万円